

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 12. 7

下水道機構の『新技術情報』 第214号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は21節気の「大雪」。ですが今年は暖冬のようなですね。都内の紅葉も例年より見ごろを迎えるのが遅いように感じます。おかげで紅葉を長く楽しめますが、あまり暖かすぎるとサンタクロースもソリに乗れないかも？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第214号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・平成28年1月14日の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 町村下水道対策官 白崎 亮氏をお迎えして開催します！

■機構の動き

・今週は、12/7(月)に第2審査証明委員会、12/10(木)に技術サロン、12/9(水)に第1審査証明委員会、流出解析モデル利活用に関する共同研究委員会を開催します

■Tea Break

・今年を振り返り (研究第一部 イラブチャーさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・本日、久々のゆいまーるは、水上バスで巡る隅田川の旅をお届けします!(^^)!

■国からの情報

・12/11付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●平成28年1月14日の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 町村下水道対策官 白崎 亮氏をお迎えして開催します！

『平成28年度下水道事業予算案について(仮題)』をテーマに、来年度の下水道

に

関わる予算概要や事業制度などについてお話いただく予定をしております。

お申し込みは、機構ホームページや次週のメルマガ等でご案内します。

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●平成 27 年 12 月 7 日(月) 13:00~17:00

行 事：平成 27 年度 第 3 回第 2 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：平成 27 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各技術の報告書の審議

●平成 27 年 12 月 9 日(水) 10:30~17:00

行 事：平成 27 年度 第 3 回第 1 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：平成 27 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各技術の報告書の審議

●平成 27 年 12 月 9 日(水) 15:00~17:00

行 事：平成 27 年度 第 2 回流出解析モデル利活用に関する共同研究委員会

場 所：機構 8 階 中会議室

案 件：流出解析モデル利活用に関する共同研究

○平成 27 年 12 月 10 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 343 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会 技術第二部 部長 屋井裕幸 氏

テーマ：『雨水貯留浸透技術の現状と課題(仮題)』

お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○平成 28 年 1 月 14 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 344 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

町村下水道対策官 白崎 亮 氏

テーマ：『平成 28 年度下水道事業予算案について』

※お申し込みは、Web にて 12/11(金)から募集開始予定です。

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●今年を振り返り（研究第一部 イラブチャーさんからの投稿です）

早いものでもう年末になってしまいました。さて、今回は私が釣ってきたお魚さんを紹介し今年を振り返りたいと思います。

◇冬：船でショウサイフグ釣り。免許をもった船長さんがさばいてくれます。薄造りにせず、あえて厚身の刺身でいただくと濃厚な旨味とはっきりとした歯ごたえで大変美味しゅうございます。から揚げも最高。

◇春：メバルの穴場を見つけ良型をゲット！刺身はフグに劣らず歯ごたえがあった。

◇夏：①タコのシーズン到来！嫁もそこそこの型を釣り上げました。タコは身の歩留りが良く、タコ焼きを焼きまくりました。②コブダイが釣れたので刺身にチャレンジするも強烈な磯臭さで嫁にとめられ断念。

◇秋：石鯛を釣る。先のコブダイの例もあり、無難なから揚げに逃げてしまった。。。

◇そしてまた冬：釣れたアナゴを蒲焼に、脂ののった身は甘味が強くタレとの絡み具合も最高。嫁が釣った大型のカサゴはお刺身に、やはり脂がのっており美味し。

さあ、釣り納めは何を釣ろうかしら？

_____。○○。

まる子のゆいまーる（皆様との交流の場です）

○○○。_____

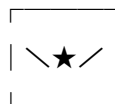
●皆さまお久しぶりです♪

今日のゆいまーるは、水上バスで巡る隅田川の旅をお届けします!(^^)!

詳細はこちら⇒ <http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2015-12-7>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2015. 12. 11 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 政府及び国土交通省の気候変動適応計画の策定について【国土交通省】
- 「第3回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」のご案内【(公社)土木学会、国土交通省】
- GK Pが「第17回エコプロダクツ2015」に出展【GK P（下水道広報プラットフォーム）】
- ロシア連邦サンクトペテルブルク市と上下水道分野における技術交流に関する覚書を締結【大阪市】
- 1/9 日本学術会議主催学術フォーラムのご案内「最終回・第11回連続シンポジウム・巨大災害から生命と国土を護る」【環境システム計測制御学会】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●政府及び国土交通省の気候変動適応計画の策定について【国土交通省】

我が国の気候変動の影響に関する評価結果を踏まえ、様々な分野における気候変動の影響に対し、政府全体として整合のとれた取組を総合的かつ計画的に推進するため、本年11月27日に、政府の「気候変動の影響への適応計画」が閣議決定されました。

これを受けて、同日、国土交通省の気候変動適応計画も決定されましたので、お知らせします。

○気候変動の影響への適応計画（政府の適応計画）（環境省 HP）

<http://www.env.go.jp/press/101722.html>

（参考）閣議決定に関するニュース

<http://jp.wsj.com/articles/JJ12221025464681694519819860112471535816252>

http://www.nikkei.com/article/DGXLASGG27H0G_X21C15A1EAF000/

※下水道関係は、第2部第2章（水環境・水資源）、第4章（自然災害・沿岸域）、第5章（健康）、第7章（国民生活・都市生活）等に記載があります。

○国土交通省気候変動適応計画（国土交通省 HP）

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000118.html

※下水道関係は、Ⅲ1（自然災害分野）、2（水資源・水環境）、

3（国民生活・都市生活分野）、5（その他の分野）等に記載があります。

●「第3回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」のご案内【(公

社) 土木学会、国土交通省】

近年、水害が頻発・激甚化するとともに、渇水の頻発や深刻化の懸念が指摘されている中、河川、都市計画、下水道分野の連携が重要となっており、以下の通りワークショップを開催します。

- ・日時：平成 27 年 12 月 15 日（火）14:00～17:00
- ・場所：土木学会講堂（東京）
- ・主催：土木学会 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会、水工学委員会、土木計画学研究委員会
- ・パネルディスカッション ～過去の復興や防災まちづくり等の経験・教訓を手がかりに、水害への備えについて、都市、河川、下水の分野間の連携方策について考える（仮題）～

〈ファシリテーター〉 小池 俊雄 東京大学大学院工学系研究科 教授

〈パネリスト〉

赤川 俊哉 株式会社オオバ東北支店 副支店長

尾崎 平 関西大学 准教授

加藤 孝明 東京大学生産技術研究所 准教授

多々納 裕一 京都大学防災研究所 教授

立川 康人 京都大学大学院 教授

谷口 守 筑波大学システム情報工学研究科 教授（五十音順）

- ・プログラム・申し込み方法：

<http://hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp/renkei/activities/20151215/20151215-3rdWS.pdf>

●G K Pが「第 17 回エコプロダクツ 2015」に出展【G K P（下水道広報プラットフォーム）】

下水道広報プラットフォーム（略称：G K P）では、12 月 10 日（木）～12 月 12 日（土）に東京ビッグサイトで行われる「第 17 回エコプロダクツ 2015」に出展します。今回の展示はメタウォーター株式会社（上水道部分担当）と共同出展で、「水をめぐる冒険」と題して、水の循環をテーマに、私たちの暮らしを支える水のナゾと社会インフラである上水道・下水道の重要な役割を体験型で学べる準備をしております。「水をめぐる冒険」には是非、足をお運びください。

- ・会期：12 月 10 日（木）～12 月 12 日（土）10:00～18:00（最終日は 17:00 まで）
- ・会場：東京ビッグサイト（東 4 ホール 4-023）

<http://www.jswa.jp/wp/wp-content/uploads/2015/11/79cf4329b3f3be55275d51f2928846fda.pdf>

●ロシア連邦サントペテルブルク市と上下水道分野における技術交流に関する覚書を締結【大阪市】

大阪市は、平成 27 年 11 月 3 日（火曜日）に、ロシア連邦サントペテルブルク市及びサントペテルブルク上下水道公社との間で、上下水道分野における技術交流に関する覚書を締結しました。大阪市は、サントペテルブルク市との間で姉妹都市提携を結んでおり、昨年（平成 26 年）9 月に提携 35 周年を記念した大阪市代表団がサ

ンクトペテルブルク市を訪問し、大阪市との上下水道分野での技術交流と日本の技術の導入に対する強い期待が示されました。そうした経過を踏まえて、両市間での上下水道分野における技術交流に関する覚書の締結に向け調整を進め、このたび締結に至ったものです。署名式では、大阪市建設局及び水道局、サンクトペテルブルク市エネルギーインフラ委員会とサンクトペテルブルク上下水道公社が一堂に会し、技術交流に関する覚書を締結しました。今後は、この覚書締結を契機にお互いの上下水道分野での技術的な経験の共有と本邦企業の優れた下水道関連技術の展開支援を進めていきます。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000332130.html>

●1/9 日本学術会議主催学術フォーラムのご案内「最終回・第11回連続シンポジウム・巨大災害から生命と国土を護る」【環境システム計測制御学会】

日本学術会議は、下記の通り学術フォーラムを開催します。これは、日本の防災・減災に係る30の学会の代表が集まり、日本学術会議と連携し、分野の壁を越えて東日本大震災後の約5年間を振り返り、大震災から得られた教訓とその継承について議論するものです。

今後の活動は、「防災学術連携体」(Japan Academic Network for Disaster Reduction)を設立し、今後の大災害の緊急事態にも対応できる継続性のある学会ネットワークに継承していきます。

- ・日時 平成28年1月9日(土)午後1時から5時
- ・会場 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)
- ・主催 日本学術会議東日本大震災の総合対応に関する学術連絡会
- ・申し込み 右のサイトより先着順で受け付けます <http://janet-dr.com/>
- ・実況中継 当日はインターネットで実況中継(Ustream)しますので、ホームページ <http://janet-dr.com/> をご覧ください。
- ・参加学会 環境システム計測制御学会、日本水環境学会、土木学会、日本建築学会、日本機械学会、日本原子力学会など30学会

=====

◆自治体財政 健全化へ地道な努力を重ねよ〈12/4 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/editorial/20151203-0YT1T50217.html>

◆旧三河島汚水処分場でライトアップ 東京〈12/4 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/151204/rgn1512040026-n1.html>

◆汚泥燃料で性能試験 県産廃処理公社〈12/4 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/kenmin-fukui/article/kenmin-news/CK2015120402000212.html>

◆水環境整備にベトナムから視察団、神戸・松本地区へ〈12/4 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/151204/rgn1512040050-n1.html>

◆水害関連で9市議が質問 栃木市議会 きょうから〈12/1 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tochigi/list/201512/CK2015120102000171.html>

◆神戸市と三菱電機が協力協定 水インフラ輸出で〈12/1 神戸新聞NEXT〉

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201512/0008612206.shtml>

◆PFIで浄化槽整備、設置から運営まで民間委託〈11/28 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/254307>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
